

平成25年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号				7 - 2 - 36	
事務事業名	市総合グラウンド管理費			担当課係	生涯学習課
総合計画上の位置付け	大項目	5. 「日（いとなみ）が輝く」		記入担当者	
	中項目	①伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興		内線等	
	小項目	3. 生涯スポーツの推進		E-mail	
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	10 教育費	項	7 保健体育費	
	目	3 体育施設費	事業	1 市総合グラウンド管理費	
開始年度	昭和 28	年度	根拠法令・要綱等 小松島市総合グラウンド使用条例		

■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市民				
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 小松島市総合グラウンドの安全で円滑な運営に寄与する。				
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 市総合グラウンド管理の委託、地権者に対する借地料を支払う。				
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 昭和28年度より市民の体位向上と健康で文化的な生活の向上に寄与するため、小松島市総合グラウンドを設置し、野球場、及びテニスコートを運営する。				

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明					指標化できない成果 施設の設備や広さなどに対する 利用者の満足度
	施設利用件数		施設利用件数					
	単位		H24	H25	H26	H27	将来目標 (年度：平成)	
	目 標		604	509	501			
件	実 績		509	501				
	達成度		84.3%	98.4%				

活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H24	H25	H26	H27	指標の説明
	市総合グラウンド野球場利用件数	計画	件		222	219	229	229
実績				219	229			
市総合グラウンドテニスコート利用件数	計画	件		382	290	272	272	
	実績			290	272			
	計画							
	実績							
	計画							
	実績							

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

				24年度決算	25年度決算	26年度決算	25年度予算	
		A	B					
全体コスト (円)	関連事業費	直接事業費		38,615,063	35,595,298	0	36,657,000	
		財源内訳	国県支出金					
			地方債					
			利用者負担		464,750	606,920		
			一般財源		38,150,313	34,988,378		
		B	人件費 ①×②		815,800	801,735	0	
		職員平均人件費①		8,158,000	8,017,354			
従事した割合②/人		0.10	0.10					
A + B			39,430,863	36,397,033	0			
単位コスト	活動指標の説明		施設利用件数 509件	施設利用件数 501件			備考	
	活動指標1単位当たりコスト		77,467	72,649			平成24年4月1日現在 人口40,876人	
	市民一人あたりのコスト		965	894			平成25年4月1日現在 人口40,733人	

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 今後は、市民の意見を取り入れながら、公園としての事業計画の全体像を策定し、早期整備に向けた取組を、より一層推進すべきとの指摘がある。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 現在のテニスコートを廃止して公園に整備するのであれば、利用者やテニス連盟からは、大会を実施するにあたり、コートを5面は整備することを望まれている。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	野球場、テニスコートは、練習や大会が運営されるなど多くの施設利用が図られている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	総合グラウンドは、小松島市の体育施設のため、市体育協会に管理を委託し運営している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	地権者に対する借地料が事業費の大半である。スポーツ施設に専門知識を持つ小松島市体育協会に管理を委託しており、施設設備の運営維持に効果がある。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	市民のスポーツ振興の場として野球、テニスに利用されており、浄化槽等施設の維持管理に努めなければならない。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	市民の体力向上、野球、テニスを通じて心身の健全な育成が図られている。総合グラウンドは、境界確定を終え地権者説明会を行った。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	総合グラウンドは防災公園整備にあたり、事前事業として総合グラウンド用地の鑑定評価を行い、用地買収に向けて事業計画を策定する必要がある。今後は利用者に不便をきたさないよう最小限のグラウンド整備等を行い、安全な使用を確保する必要がある。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	2	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定 評価点 65 2	判定に至った理由 市が主体となって総合グラウンドを防災機能を有する広場として整備することとなった。防災広場の整備にあたり、事前事業として、総合グラウンド用地を確定させるための測量、及び境界確定を行った。グラウンド用地の整備等について、引き続き事業を進めるが、現状では、野球、テニスコートの貸出運営事業は継続すると判定した。
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
		3 改善・効率化し継続	50 ~ 59 点		
		4 見直しの上縮小する	40 ~ 49 点		
		5 終期設定し終了	30 ~ 39 点		
		6 休 止	20 ~ 29 点		
		7 廃 止	19 点 以下		

■改善・効率化・見直しの方向性 ※一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	2	1 拡 充 す る	判定説明 市総合グラウンドについては、「小松島市総合グラウンド防災公園整備検討委員会」において、防災の機能を持った広場等の事業を推進するため所管が変わることになるが、現状では、総合グラウンドの貸出運営事業は継続すると判定した。
		2 現状のまま継続する	
		3 改善・効率化し継続	
		4 見直しの上縮小する	
		5 終期設定し終了	
		6 休 止	
		7 廃 止	